



臨床現場のもやもやを解きほぐす 緩和ケア×生命倫理×社会学

著：森田達也、田代志門
発行：医学書院
定価：2640 円（本体 2400 円＋税 10%）

臨床現場は答えに辿りつかない「もやもや事例」に満ちている。本書では、緩和ケア医と生命倫理学者兼社会学者が、そんなもやもやを解きほぐす。森田氏が事例を提供、緩和ケアの立場からの望ましい対応を解説し、田代氏が倫理の専門家として実践的な解を導く。「もやもや事例」に新たな視点が得られる。



妊娠を知られたくない女性たち 「内密出産」の理由

編：佐藤拓代、松岡典子、松尾みさき、赤尾さく美
発行：日本看護協会出版会
定価：990 円（本体 900 円＋税 10%）

一般的に慶事とされる妊娠・出産を「誰にも知られたくない」という女性たち。そこにある背景と、現行制度や社会の課題について、妊娠に悩む女性たちの相談・支援の現場に携わる執筆陣が解説する。そもそも「内密出産」とは何なのか、どのような目的で行われているのかについても分かりやすく示されている。



対人援助職に効く 人と折り合う流儀 職場での上手な人間関係の築き方

編著：竹田伸也
発行：中央法規
定価：2420 円（本体 2200 円＋税 10%）

対人援助職の離職理由の上位にある人間関係。本書は、悩みごとに応じて“折り合う”という視点から、無理せずできるマイナーチェンジ（ささいな変化）を指南する。“ささいな変化”は実践しやすく、一方的にどちらかが我慢することなく双方の顔を立てることができる。職場で上手な人間関係を築くためにお勧めの 1 冊。

手軽な
+1



精神科医療の未来を見据えて

著：寺田悦子
発行：幻冬舎メディアコンサルティング
定価：1760 円（本体 1600 円＋税 10%）

筆者は、精神科疾患を抱えた患者が幸せに暮らせる社会を願い、80 年代に病院から地域へと飛び出し、作業所、のちに訪問看護ステーションを開設するなど、看護師として地域での患者支援に力を尽くしてきた。その活動を振り返る本書は、患者本人のための精神科医療とは何かと問い掛ける。